

2021年5月28日

News Release

長寿社会の家族にやさしい 全館貸切の家族葬専用ホールが登場

「ファミーユくまなんホール」6月5日にオープン

株式会社きずなホールディングスの中核企業である株式会社家族葬のファミーユ（本社：東京都港区、代表取締役：中道康彰）は、グループ累計 99 店舗目となる家族葬ホール「家族葬のファミーユくまなんホール（熊本県熊本市）」を 2021 年 6 月 5 日（土）にオープンします。

くまなんホールは、熊本市南部エリア 4 店舗目、市内で 17 店舗目となる直営の家族葬専用ホールです。愛着のある“くまなんエリア”から自分らしい、自分の家族らしい葬儀での旅立ちをサポートします。



■ 高齢家族も参列しやすい「1日1組・貸切」の家族葬ホール

JR 豊肥本線の平成駅から近く、大型商業施設サンリブシティくまなん正面に佇む、くまなんホール。自家用車・公共交通機関いずれのご利用でも分かりやすく、アクセスしやすい立地です。ことに駅やバス停からの近さは、免許返納で自由に使える足の減った高齢家族の参列に影響します。送る側も高齢者の多い今、誰ひとり交通の便であきらめることなく最後のお別れができます。

木造平屋建で車椅子などでも移動のしやすいバリアフリー設計です。ホールサイズは地域最小クラス（当社比）。親子だけ、きょうだいだけなどの少人数のお葬式でも寂しさを感じさせない広さです。飾り棚の大きな式場空間、故人様とご家族が最後の夜を一緒に過ごせる洋間の控室、控えの和室としても使用のできる導師控室など、コンパクトながら必要十分な設備を整えています。

当社直営の家族葬ホールはすべて「1日1組」の貸切です。完全プライベート空間のため、別の葬儀の会葬者を気にする必要はありません。見ず知らずの他者との接触を避けられるため、コロナ禍でも安心してその家族ならではのお葬式が営めます。

■ 2日間オープニングキャンペーン

6月5日（土）・6日（日）に近隣にお住まいの皆様へのご挨拶を兼ねたオープニングイベントを開催します。内覧会のほか、感染予防に配慮しながら、5日は地元ダンススクールの『ダンス SHOW』と産直グルメの抽選会、6日は人形供養祭などを行います。認知度を高めることはもちろん、葬儀の必要に迫られている人の塞ぎがちな気持ちを少しでも前向きにできればという催しです。

【ご留意ください】 新型コロナウイルスの感染拡大や政府・自治体による自粛勧告等で、イベントは中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

オープニングキャンペーンの内覧会を開催します。取材をご希望の方は広報窓口までお問い合わせください。

■ 自宅葬から一般葬、そして家族葬へ。葬儀の形は常に社会の変化を映し出してきた

葬儀の形はその時々世相や家族のあり方を映ししながら、進化を続けています。戦後主流であった自宅葬は一般葬に置き換わり、現在は家族葬へのシフトが進んでいます。(下表参照)

◇ 葬儀形式の変遷、その時代背景

時代	主流の葬儀形式	葬儀の概要と時代背景
戦後～昭和中期	自宅葬	通夜・葬儀・告別式を含めて、自宅で行うお葬式。場合によっては寝ずに儀式の全てを取り仕切るため、遺族の負担が大きい。一億総中流化・核家族化・女性の社会進出などで激減。
昭和後期～平成	一般葬	専用の葬祭場で行われ、多くの参列者が訪れるお葬式。産業構造の変化や都市部への人口流入が進み、葬儀には親類縁者・近隣住民のみでなく、会社関係者などが多く参列するように。それに合わせて大規模な葬祭会館も全国に数多く建設された。
平成終盤～令和	家族葬	家族と親しい人で行う比較的小規模で自由度の高いお葬式。平均寿命の伸長等を背景に都心部を中心に広がっていたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により、全国的に普及が加速。

大切な家族を長らく暮らした愛着のある場所から旅立たせてあげたい。しかし、昔ながらの自宅葬は家族等の負担が大きく難しい……。老老介護ならぬ“老老葬儀”も増える中、生活圏内における手頃な家族葬ホールは、地域住民の安心感につながるものと考えます。家族葬のファミリーユは、熊本市南区に所縁のある方々の旅立ちをお手伝いし、最期まで安心して暮らせる街づくりに貢献してまいります。

■ 高齢化が進む熊本市南区のエリア事情 75 歳以上人口は 2 倍に増加

熊本市における 75 歳以上の後期高齢者の人口比は 13.3% (全国平均：14.9%)。20 年前の 44,321 人から 97,235 人に倍増しています。(当社調べ)

ファミリーユの熊本支社の葬儀実績は 968 件(2019 年度)、葬儀件数は前年比で 105 件ほど増加しました。既に多くの地元の皆様にご利用いただいています。

当エリアには、「島町ホール」、「世安ホール」、「はませんホール」の 3 店舗が既にあります。いつもの生活のより近くで、増えつつある地域の家族葬需要に応えるため、「くまなんホール」を出店します。

いざという時に頼れる選択肢を 4 店舗に増やし、「地域いちばんの家族葬」をご提供し続けます。

参考：熊本市 HP 統計情報室 (住民基本台帳を基準とした参考数値)

<http://tokei.city.kumamoto.jp/content/ASP/Jinkou/default.asp>

■ 店舗概要

店舗名 : 家族葬のファミリーユくまなんホール
 オープン日 : 2021 年 6 月 5 日 (土)
 住所 : 熊本県熊本市南区馬渡 1 丁目 1-28
 アクセス : 〈バス〉桜町バスターミナル 2 番乗り場にて「P2-1」に乗車、「平成町」バス停より徒歩 3 分
 〈車〉熊本 IC より東バイパスを熊本市街へ。流通団地入口を右折。
 〈電車〉JR「平成駅」より徒歩 8 分
 駐車場 : 18 台
 建物構造 : 木造平屋建
 敷地面積 : 995.33 m²
 建築面積 : 206.44 m²
 施設内容 : ホール 24 席、遺族控室 2 室、導師控室
 電話番号 : 0120-365-024



■ 家族葬の専門葬儀社として設立 21 年目。2020 年 3 月に親会社（持株会社）が上場。

家族葬のファミリーは、2000 年に第 1 号の家族葬ホールを出店し、今年で設立 21 年の専門葬儀社です。当初から「家族葬」に特化し、家族の絆が深まるご葬儀を提供し続けています。直営ホールのみならず、全国にある 1,000 箇所の斎場で 10 万件以上のご葬儀実績があります。

事業の成長力を認められ、2020 年 3 月には親会社（持株会社）の「きずなホールディングス」が東証マザーズに上場しました。7,000 社以上あるとされる葬儀社で 5 社目の上場企業です。

2030 年には 30 都道府県に 300 店舗、さらにその先の 47 都道府県への出店と葬儀サービスの提供を目指しています。

■会社概要

株式会社家族葬のファミリー

- 【設立】 2000 年 7 月
- 【代表】 代表取締役 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6431（代表）／FAX 03-5427-6433（代表）
- 【従業員】 441 名(2020 年 5 月末日時点、出向者を除き、パート・契約社員・派遣社員含む)
- 【資本金】 100 百万円
- 【売上高】 7,875 百万円（2020 年 5 月期 日本基準）
- 【事業内容】 ・ 葬儀葬祭に関する一切の業務
・ フランチャイズシステムによる葬儀葬祭事業の展開
・ 「お葬式を家族のものに」のスローガンのもと、
1 日 1 組限定の「家族葬のファミリー」及び邸宅型家族葬の「弔家の灯」を提供
・ これまでの葬儀の価値観にない「家族の意向を汲んだ、家族のための家族葬」を提供
- 【URL】 <https://www.famille-kazokusou.com/>

株式会社きずなホールディングス

- 【設立】 2017 年 6 月
- 【代表】 代表取締役社長 兼 グループ CEO 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6432
- 【従業員】 505 名（グループ連結、2020 年 5 月末日時点、臨時雇用者含む）
- 【資本金】 153 百万円
- 【証券コード】 東京証券取引所マザーズ市場 7086
- 【売上高】 7,676 百万円（グループ連結、2020 年 5 月期 IFRS 基準）
- 【事業内容】 ・ グループ全体の経営戦略に関する立案、推進ならびに管理
・ 葬儀葬祭に関する一切の業務
- 【URL】 <https://www.kizuna-hd.co.jp/>

※企業関連情報：https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/ONB/21/kizuna_hd0312/

<報道関係者お問い合わせ先>

株式会社きずなホールディングス 広報部（家族葬のファミリー広報窓口）

E-mail：pr@kizuna-hd.co.jp FAX：03-5427-6433

担当：小林、佐藤 Mobile：070-7601-5550（受付時間 平日 9：00～17：00）